

だれでも幸せになれる教えです !!

ひかり

2025年
12月

244号

- ◇年末は一年の総決算
- ◇因縁を知る人が眞の智慧者
- ◇よみがえる教え妙法



ホームページ

宗教法人 真生会

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変える在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界 「真生樂園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践
- ・笑顔と明るい声掛けの実践

◇即身成仏 「輝く自分作り」

- ・ありのままで輝く自分自身になる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

～お知らせ～

行事法要のご案内

総本山真生寺 年末年始ご参拝案内

除夜の鐘 大晦日 20時30分～21時30分
初詣参拝 元旦、二日 正午～16時

1月は新年祝寿祈願大法要がございます。
日時は各教会の日程表にてご確認下さい。
※只今、総本山・各教会において供養受付中



▲QRコードから
年末年始ご参拝の案内
チラシがご覧頂けます

七五三詣り 子供災難除け



◀本年限定の絵柄の
すこやか守を授与



▼記念品の写真立て
仕様のQUOカードpay
(総本山)



お子様も経典を手に
一緒に読經供養

に成長されることを祈願した。
最後にご祈祷申込のお子様には
記念品が授与された。



◀本年限定の絵柄の
すこやか守を授与



▼記念品の写真立て
仕様のQUOカードpay
(総本山)



聖地一齊勤労奉仕

十一月十六日、勤労感謝の日の月に合わせて総本山真生寺において聖地一齊勤労奉仕を行つた。各教会からの参加者含め

総勢三十名程の会員信徒が奉仕作業に汗を流した。境内

山林の四天王守護神の清掃や水路に溜まった泥や落ち葉拾い、山道階段



七五三詣り・子供災難除けにてお子様の健やかな成長を祝った（大阪教会）

の枕木の補修作業などで境内各所が整備された。最後には境内で収穫したばかりの柚子が配られた。奉仕者一同、秋晴れの中で身施の喜びを感じながらの奉仕作業となつた。

田中偉仁開祖さまのみ教え



同じ圓^{えん}を書き、同じように目鼻を書きました

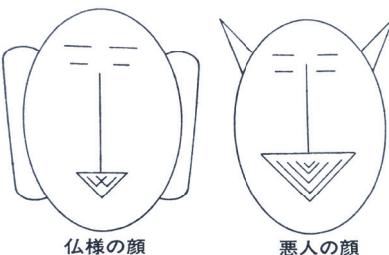
が、下記の図の如く、仏様の顔と悪人の顔とに分かれてしまします。どこが違うかよく眺めて下さい。耳と口が違つております。仏様と言わ

れる人は常に人の意見を先ず聞く鷹揚な大きな心の耳

をお持ちです。次に口（言葉）は相手を救う優しい口

をしておられます。悪人は図の如く、人の意見や忠告を聞く耳は小さく、口は常に相手を威圧し罵詈雜言を吐き、相手に対する攻め道具に大きく口を開いてお

ります。私たちの日常生活を振り返り反省するとき、心は悪人顔であるか、仏様顔であるか、はたして自分



（1985年、眞実に生きる55号より）

ご真教法話

会長 田中庸仁



◇年末は一年の総決算

今年も残りわずかとなりました。年末は今年一年の徳・不徳の決算月です。一年を振り返って愚痴^{ぐち}や不足、怒りや慢心^{まんしん}、貪りというマイナスが多かつた人は、急いで感謝や喜び、精一杯の施しをして不徳の赤字決算にならないように穴埋めをしましよう。

感謝や喜びのプラスが多かつた人も、更なる徳の上積みをして充実した年末を過ごしましょう。

もし年末に怪我や病気、困ったことが起きた人は、年内中に一年の不徳の清算が出来たと受け止め、不徳の借金を来年に持ち越さなくて済ん

だことを喜びましょう。

反対に一生懸命徳積みをしてきたつもりなのに特別良いことが起こらなかつた人は、徳の貯金が来年に持ち越されきつと利息が付いて戻つて来るだろうと喜びましょう。

何事も最後の仕上げが大切です。洗濯をしてシワの入ったワイシャツでも、最後のアイロン掛けがしっかりとできたら、見た目も良く気持ちよく着られます。

年末は毎日を心のアイロン掛けと思つて丁寧にまごころを込めて過ごしましょう。

◇因縁を知る人が真の智慧者

十月の末に九十才を越えたベテラン信者さんから電話相談がありました。



「先生、大変なことが起きました。昨晩トイレに起きて用を足した後、立ち上がる時にめまいがして狭いトイレの中で前のめりに倒れ、左の目の上を切り、気が付いたら床も顔も血まみれでした。

誰か呼ぼうにも息子夫婦の部屋は離れており呼んでも聞こえません。

何とか自力で立ち上がり、トイレットペーパーで傷口を押さえ、床を拭いて部屋に戻りました。血は止まつたようでしたので、そのまま休みました。翌朝起きて来た嫁がビックリして医者に連れて行つてくれましたが、結構な傷で三針縫いました。

年末は一年の総決算と教えてもらいますが、私の総決算は毎年早くて十月に出ますが、今年も十月にこんなケガをしました。先生、何の罪でしようか？何を反省すればいいでしようか？」という相談です。

開祖さまの教えをしつかり学んだベテラン信者さんですので、「電信柱が高いのも、郵便ポストの赤いのもみんな自分が悪いのよと悟れば、必ずよくなる」という開祖さまの教えを信じ、懺悔反省される心構えは

さすがと思いました。

すべては自分の心の現れという諸法実相の教えから言えば、左は男の因縁、目の上ですから、誰か目上の男の人に対する不徳や心得違いということになりますが、九十才を過ぎたおばあさんには目上に当たる男の人は現在いません。

そして、毎年十月に色々な困つたことが起きると言われましたので、こんなことをお尋ねしました。

「あなたを養女として迎え、幼い頃から跡取りとして大切に育ててくれた義父の命日は何月ですか」

「はい、義父の命日は十月です」

「罪や業ではありませんが、去る者日々に疎うとしで、大恩ある義父への報恩感謝のお祈りや徳積みが不足しているのだと思います。毎日必ず読経供養するこ



とと、祥月命日の月にはしっかりと徳積みをされるといいですよ。親が亡くなつたいう悲しい谷の月が、親の思いに護られて良いことが起きる嬉しい山の月に変わりますよ。来年からは十月を大切にしましよう。」

「分かりました。祥月命日は過ぎてしましましたが、早速ご供養させて頂きます」と理解されました。

男の人に徳のない人、女人に徳のない人、目上や目下の人に徳のない人、仕事に徳のない人など、誰にでも不徳のウイークポイントがあります。

一般的には一年の総決算は年末十二月ですが、どの家にも因縁の年回りや因縁の月日という悲しい出来事ことや大きな変化など人生の節目の年月があります。一つは年忌法事の年月です。最近はどんどん簡略化され、祖父母や親の年忌法事も七回忌も過ぎると兄弟親戚も呼ばなくなつたり、法事そのものをやらなくなる家も増えているようです。

これでは幹や枝葉を支える根が弱り、ちょっとした大風や台風などで

根こそぎ倒れてしまうように、残った子や子孫は風前の危うき人生です。

先日も木枯らし^{こが}一號の突風が吹いた日、市内の幹線道路を走つておりましたら、十メートル以上ある大きなボプラの並木が根こそぎ倒れ警察が規制線を張つていました。見た目は一抱えくらいある幹で立派な大木でしたが、根っこは小さく腐つており、地上の幹や枝葉を支える力が無くなり倒れたのです。

昨今の墓じまいや大恩ある親の年忌法事を^{ないがし}蔑ろにする風潮は、根の腐った樹木のように何かあつた時には今の幸せも根こそぎひっくり返つてしまうのです。根がしつかり張つている樹木は、仮に今年枝葉に花が咲かなくても来年はきっと咲くという楽しみと希望が持てます。



物事が順調に進み、周囲から誉められた時「お陰様で」と言います。陰というのは目に見えない所です。目に見える実力や努力以上の良いことが起きるのは、目に見えない神仏や亡き親・先祖に守られて「陰の力」を頂いているのです。これが真理です。

◇よみがえる教え妙法

どんな因縁も乗り越えられない問題はありません。田中家は私の曾祖父と祖父が五十六才の時、一代にわたって倒産の悪因縁がありました。開祖さまご夫妻の不断のご精進と徳積みによって田中家の運命はよみがえりました。開祖さま五十六才、祖父の二十三回忌の年に総本山の土地が買え、私の五十六才の時に旧本部の隣地が買えました。

また、曾祖父の命日は十一月三十日ですが、真生会の法人認可が下りたのも、総本山と旧本部隣地が買えたのも十一月でした。家土地を失うという運命の谷間であつた年回りや月が、家土地が増え嬉しいことが起きる因縁に切り替わったのです。法華経の教えに間違いはありません。

先師の名言、名句



感謝 報恩
今日あるは

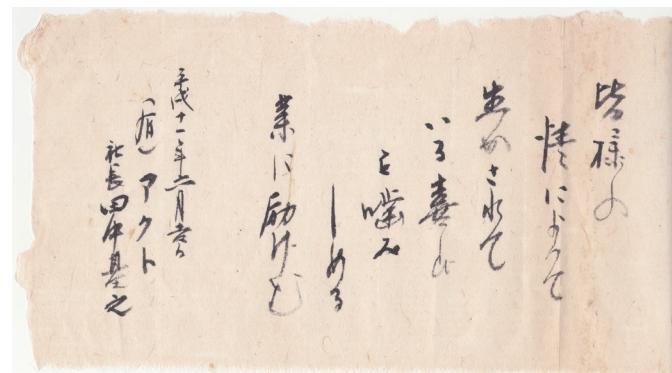
親のおかげと

皆様の情によつて

生かされている喜びを

噛みしめる

業に励げむ



(開祖さま書簡)

開祖さま四男の基之さんが起業するにあたり、開祖さまが送られた書簡です。

何事も自分の力と努力だけではなく、陰ながら支えて下さる親の応援と縁ある皆様の情けによつて生かされていいるという感謝とその御恩に報いるという心構えが事業繁栄の基礎なのだというご指導です。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

多田佳央	高橋身衣	岸本周夫
山田佳延	鈴木快法	京川春男
飯田昌子	足立和美	鈴木正巳
飯田修五	熊田啓予	多田正幸
加藤祐記子	亀井善広	多田道子
堀部祐美衣	亀井由実子	加納啓至
大橋末子	田中宏明	福元正子
堀部恭利	田中花音	滝本光男
飯田修五	田中佑季子	東森敦巳
早野桂子	田中庸仁	土川順觀
早野起世	佐藤ひとみ	土川恭代
豊田直正	佐藤ひとみ	土川康二
豊田真悠子	佐藤ひとみ	土川廣美
田中祥陽	松尾定洋	土川正子
田中理夏子	龜井善二	三村南央斗
田中理夏子	岸本昌子	横山知津子
田中理夏子	岸本昌子	三谷衣里

今月の運勢（1月）

(2026年1月5日～2月3日)

一白水星
物事を完成させる時だが焦つてはいけない。機の熟すのをじつと待つことである。心に誠があり正しく待機すれば必ず良い結果につながる。時期が来たら思い切った冒険も良い。

二黒土星
大いに前進し発展する可能性があり望みは大いに通る。実行力が強くやるべきことをやっているので人が何も言えないが、威圧的にならないよう。有頂天にならざううまく行かない時にも備えること。

三碧木星
行く手を塞ぐ大きな問題の谷間に入った。人とのつながりを大切に直面する。行いは出しやばらず控えめに過ぎること。消極的すぎるところが利を生み、チャンスが訪れる。攻めの運勢である。心に誠があり正しく待機すれば必ず良い結果につながる。時期が来たら思い切った冒険も良い。

四緑木星
家族や仲間と仲良くすることは最も大切。互いに助け合い和合があれば何事もうまく行く。集団の和を保つには主役よりも裏方の働きが重要になる。家庭なら主婦、集団なら陰役の力でまとまる。

五黄土星
運気の谷間に入った。人とのつながりを大切に直面する。行いは出しやばらず控えめに過ぎること。消極的す

めの運勢である。心に誠があり正しく待機すれば必ず良い結果につながる。時期が来たら思い切った冒険も良い。

六白金星
陰と陽、天と地が離れ離れになってまとまらず行き詰まりを生じる。ジタバタせず腹をくくって時を待つ。能

七赤金星
運気は絶好調。自分が積極的に行動して相手を喜ばせれば、多くの人が自然に集まり従ってくれる。あなた

八白土星
運気は強いが難問処理の時。組織や計画の建て直しが必要。慌てず大きく育つことを忘れないう。

九紫火星
周囲から注目される所に立っているので、大きな行動や新規事業は控えること。但し、何事も明るく考え、常に内なる情熱を燃やしながら今は実力を蓄える時である。

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地

TEL 058 (235) 7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店

普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

化の教えは中道実践
何事もやり過ぎは禁物
過保護・過干渉は、
企業も人も衰退させる
苦労をひこ自力を付ける
自立支援が大切
行き過ぎた放任主義は墮
落する

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--------------------|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地 |
| | | TEL 058-235-7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19 |
| | | TEL 058-262-9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10 |
| | | TEL 06-6308-5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10 |
| | | TEL 052-351-3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします